

東京湾海況情報 24-11

東京湾水質調査結果（平成25年2月）
（平成25年2月25日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 2/14：内湾(わかふさ)、2/5：内房海域(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(2/5)、東京湾口海況図(2/5)
モニタリングポスト(2/14：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)

今月は時化により内湾と内房海域の調査日が離れたため、区分して掲載しました。

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)はほぼ全域で 8~10℃前半で、平年並みからやや低めになっています。塩分は31~32PSU台で、平年より高くなっています。

一方、内房海域の表層水温は11~15℃台、塩分は33~34PSUで、金谷から久里浜を結ぶライン以南では水温14.5℃台以上の水塊がみられ、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみても、水温14.5℃以上・塩分34.5PSU以上の水塊が勝山沖の表層から水深15m付近まで流入しています。

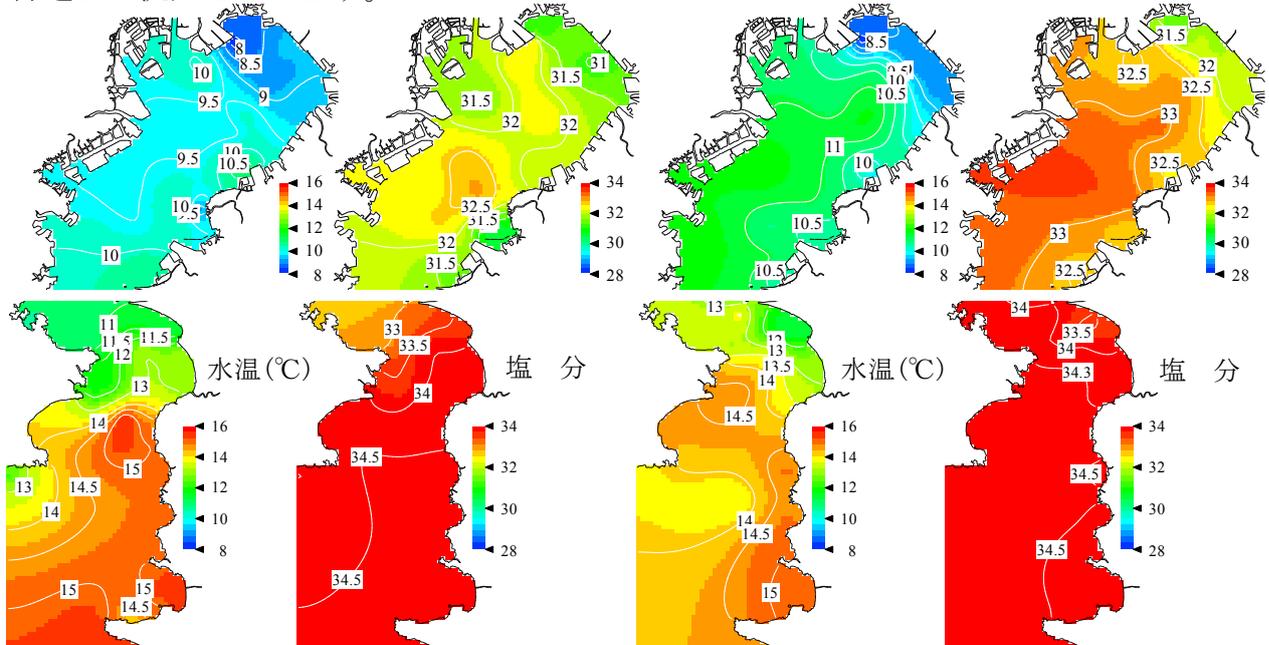


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

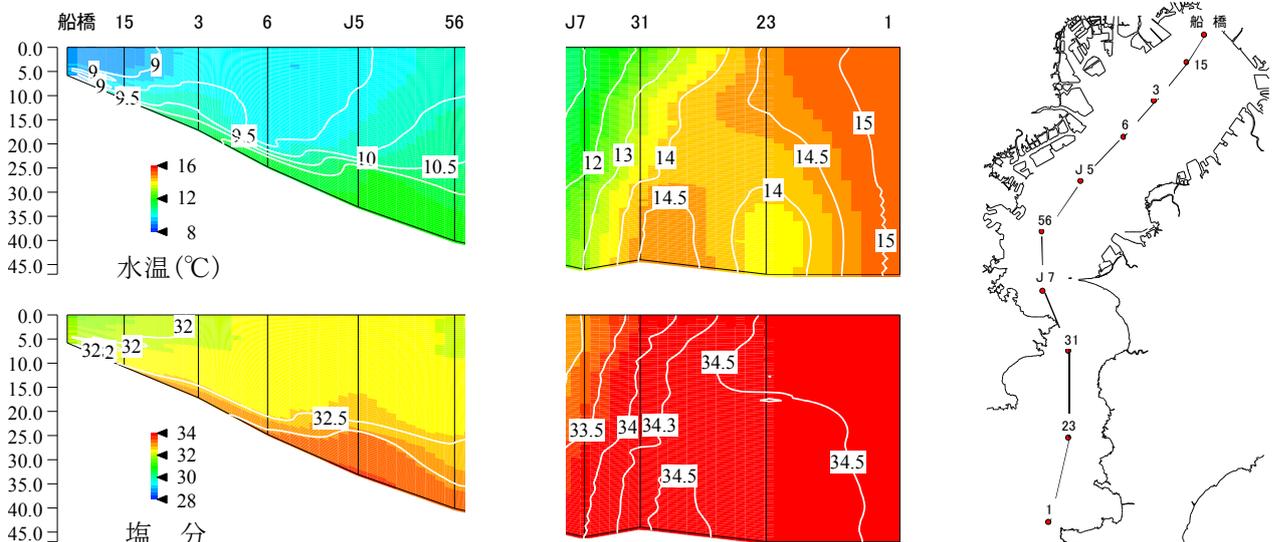


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していませんが、内湾ではスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)やキートケロス(*Cheateoceros* spp.)などのケイ藻プランクトンが多く、水色はおおむね黄緑色ですが、褐色を帯びているところもみられます。

一方、保田から富浦にかけての周辺海域ではプランクトンは少なく、ケイ藻類がみられる程度でした。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

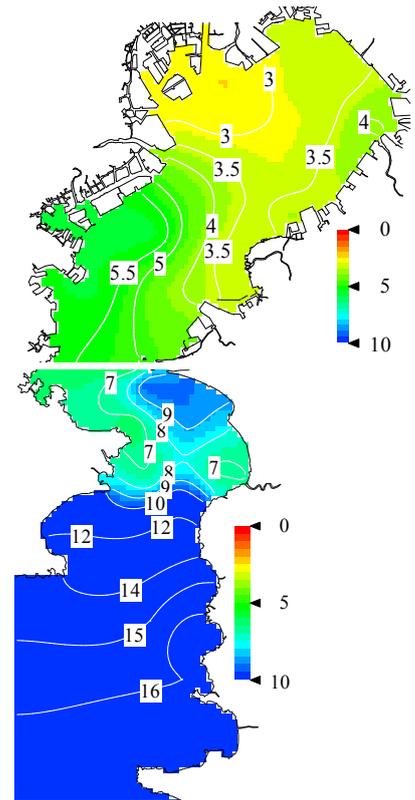


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)はほぼ5ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

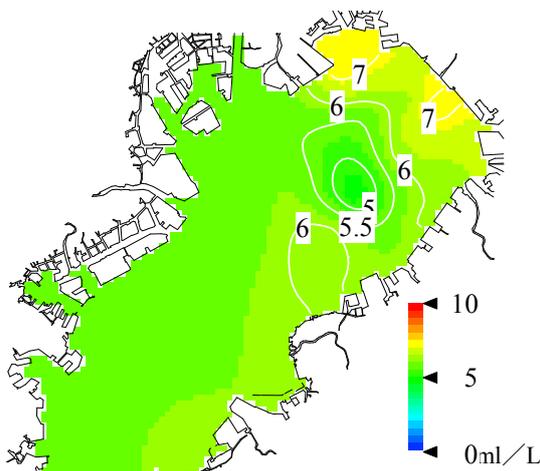


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

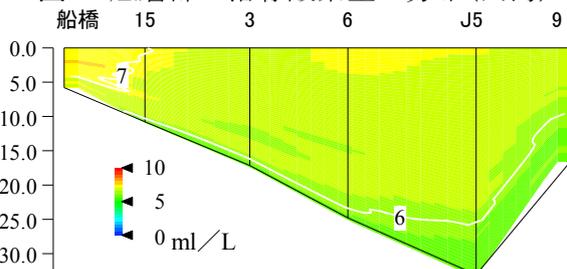


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン(PO₄-P)ともほぼ全域で平年並み～やや低めになっています。

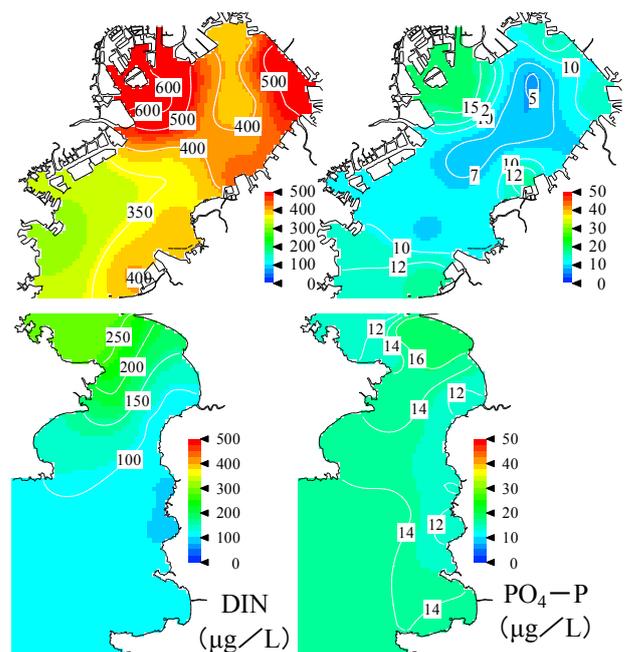


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮はD型基調で推移し、その流軸は5日現在房総半島南東岸で大きく蛇行し、房総半島南東岸をS字状に北上しながら北東方向に流れています(図8)。

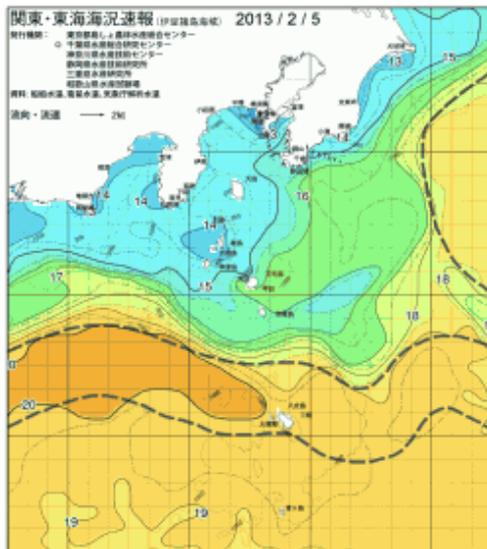


図8 黒潮の動き (平成25年 2月 5日)

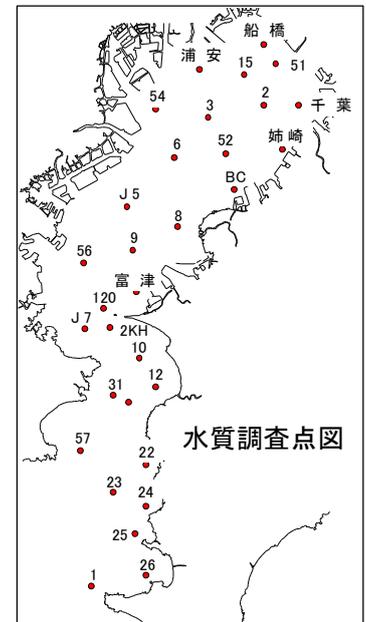


表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2002~2011年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存 酸素量 (ml/L)	アンモニ ア態窒素 (μg/L)	溶存無機 態窒素 (μg/L)	リン酸態 リン (μg/L)	クロロ フィルa (μg/L)
船橋	8.6 (9.1)	31.41 (30.92)	3.2 (3.2)	8.2 (8.4)	6.9 (7.1)	64 (50)	399 (483)	13 (15)	19.4
st.15	8.5 (9.5)	31.73 (31.13)	3.3 (3.5)	8.2 (8.4)	5.7 (6.3)	26 (44)	392 (484)	5 (11)	25.7
st.3	9.5 (9.3)	32.04 (30.61)	3.0 (4.1)	8.2 (8.4)	5.7 (6.5)	47 (77)	435 (561)	8 (14)	22.3
st.6	9.3 (9.5)	32.17 (31.08)	3.8 (4.6)	8.2 (8.4)	5.7 (5.9)	39 (43)	392 (457)	6 (9)	14.2
st.9	9.6 (9.8)	32.41 (31.47)	4.3 (5.4)	8.2 (8.3)	5.7 (6.4)	32 (50)	358 (414)	7 (11)	13.1
st.BC (盤洲Cブイ)	11.0 (10.9)	31.83 (31.41)	3.7 (4.2)	8.2 (8.4)	6.0 (6.1)	57 (49)	426 (436)	15 (13)	14.7
st.8 (盤洲A南)	9.8 (10.0)	32.40 (31.60)	3.4 (4.1)	8.2 (8.4)	5.8 (5.5)	45 (46)	375 (415)	9 (12)	14.2
富津	10.3 (10.3)	31.44 (31.58)	4.5 (5.0)	8.1 (8.3)	5.9 (6.0)	80 (56)	401 (386)	14 (14)	6.4
st.2KH (第2海ほ下)	11.0 (11.1)	33.08 (32.83)	9.5 (6.2)	8.2 (8.3)		47 (31)	257 (294)	17 (13)	1.7
st.31	12.1 (12.3)	33.62 (33.31)	7.5 (9.7)	8.2 (8.3)		18 (22)	186 (244)	15 (14)	1.6
st.23	14.6 (14.7)	34.54 (34.24)	15.0 (18.7)	8.2 (8.2)		4 (11)	95 (122)	14 (14)	1.9
st.1	15.1 (15.4)	34.54 (34.43)	17.0 (20.3)	8.2 (8.2)		8 (12)	85 (114)	14 (16)	1.9
st.10 (下洲沖)	12.8 (12.2)	33.93 (33.42)	9.0 (7.4)	8.2 (8.2)		16 (24)	167 (243)	17 (15)	1.2
st.12 (湊沖)	13.0 (12.3)	34.14 (33.57)	7.0 (7.2)	8.2 (8.3)		5 (15)	96 (189)	12 (13)	
st.22 (保田沖)	14.9 (14.5)	34.54 (34.20)	15.0 (16.7)	8.2 (8.2)		5 (14)	78 (159)	12 (14)	1.8
st.24 (富山沖)	15.0 (14.9)	34.53 (34.35)	17.0 (17.8)	8.2 (8.2)		5 (16)	74 (148)	11 (15)	1.9
st.26 (館山湾内)	15.1 (15.2)	34.54 (34.41)	17.0 (18.1)	8.2 (8.2)		7 (14)	87 (131)	14 (16)	

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。